

地域の現状

飯坂地区は、飯坂温泉を地盤とし、「いで湯とくだもの」の里として栄え、古くは日本武尊が発見した温泉として、また元禄2年（1689年）には、松尾芭蕉が奥の細道の途中に立ち寄ったと伝えられ、現在まで、東北有数の温泉地として発展した地域です。

地区住民が中心となり「飯坂町周辺地域づくり協議会」が設立され、「にぎわいともてなし」のまちを目指し、住民と観光客のための環境及び修景整備等の検討や実践を行っていました。

地域づくりのあゆみ

平成16年

- ・H17.1月～H18.2月まで飯坂地区地域づくり懇談会を9回開催。
- ・飯坂温泉と湯野地区の6ブロックにおけるまちづくり提案とマップ作成を実施。

平成17年

- ・H17.1月～H18.2月まで飯坂地区地域づくり懇談会を9回開催。
- ・福島市はまちづくり交付金の事業実施。

平成18年

- ・「飯坂町周辺地域づくり協議会」発足。
- ・県道穴原十綱線の歩行空間整備。
- ・若喜旅館取り壊し、道路美装化等の実施。
- ・まち交大賞（東北地方大会優秀賞）受賞。

平成19年

- ・十綱橋照明・高欄工事、ライトアップ実験の実施。
- ・道路美装化等の実施。
- ・飯坂町周辺地域まちづくり協定書制定。
- ・まち交大賞（テーマ賞）受賞。

平成20年

- ・十綱橋ライトアップ照明工事、歩行空間整備の実施。
- ・道路美装化等の実施。

平成21年

- ・ポケットパーク整備 旧堀切邸整備（市）

平成22年

- ・交差点照明整備 波古湯整備及び飯坂温泉駅改修（市）

平成23年

- ・交差点照明整備

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

ハードのみでなく、ソフトの取り組みをいかに盛り上げるかが課題であることから、住民、市、県の役割（関わり）をはっきりさせる必要があると思います。

実施した感想

（県担当者）

■本事業は、これからの土木部が行っていく、地域・住民活動のサポートを主とした公共事業のやり方が凝縮されているものだと感じました。また、本事業を進めるプロセスが今後標準的な手法になると思われませんが、職員が肌で感じ、苦労し、ものにしなければならぬと思います。

元気づくりの立役者たち

飯坂温泉とおもてなしの心



十綱橋



堀切邸



地域の取り組み

■地域住民による道路美化活動

地域の魅力の向上のため、地域住民等により、沿道に花を植えたプランターを美化活動をしています。

沿道にプランターを置いています。



■来訪者を”おもてなしの心”でお出迎え

- 廃業したホテルの一部を利用し、足湯や休み処を設置し、おもてなしをしています。
- 観光入込み客数が、県内の温泉地ではスパリゾートに続き2番目に多くなっています。
(福島県商工労働部調査)

足 湯



お休み処



事業の効果

市（まちづくり交付金）と連携し、安心して歩くことの出来る道路整備やまち歩きを楽しめるネットワークの形成を図ったことで、鯖湖湯前の歩行者交通量増加等の効果がありました。

地域の課題・今後の展望

- 今後、桑折町との連携を検討しています。
- 地域再生に向け、地域資源や関連する地域再生計画との有機的な連携を考慮し、地域の特性を最大限活かしながら、地域と行政がそれぞれの役割を果たすような事業を実践していくことで、観光温泉地としての活況、にぎわいを取り戻すと同時に「地域自らのまちづくり」の醸成がなされ、持続可能な地域の活性化を図っていきます。

整備内容及び利用状況

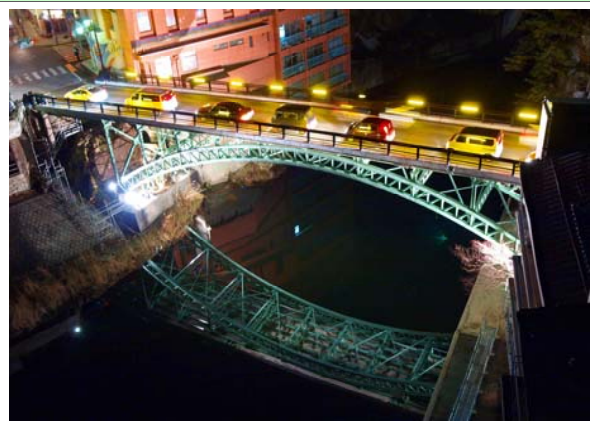
十綱橋高欄更新



施工前



施工後



十綱橋ライトアップ

管理状況

飯坂温泉観光協会、福島市、県北建設事務所とで「十綱橋」ライトアップに係る維持管理に関する協定を締結。

歩行空間整備



施工前



施工後

利用状況

(利用者の声)

■歩行空間整備により、冬場でも滑りにくく、歩きやすくなりました。

関係機関

- 福島県県北建設事務所 企画調査課
- 福島市都市政策部都市計画課
- 飯坂町周辺地域づくり協議会(事務局飯坂温泉観光協会)

TEL : 024-522-2115
TEL : 024-525-3761
TEL : 024-542-4241